

## 編集後記

7月には中国でも再び新型コロナウイルスの感染拡大が見られ、北京でも約180日ぶりとなる市中感染例が発生するなど、コロナの収束にはまだ程遠いことを実感させられました。日中双方の入国制限による往来の困難や国内での移動制限もあり、北京センターの活動も大きな制約を余儀なくされています。

そのような状況でも、9月に開催した希平会では、日本の各大学がオンラインを活用して活動を継続している様子が確認できました。また、今号を編集中の10月には、外国人研究者招へい事業に関する入国協議が整ったことにより、中国人フェローの渡日も可能になったとの嬉しいニュースが入りました。

本News Letterの発行も人手不足で遅れがちではありますが、細々とでも発信を継続していければ幸いです。

副センター長 成瀬雅也

